



[スペシャル企画] 2022年6月25日 発売予定

非行少年たちの神様

堀井 智帆 著

親の虐待→子の寂しさ→非行→著者の母親代わりの支援、
21年間2000人に関わる。前例のない人間的な付き合い。

NHKテレビ「プロフェッショナル 仕事の流儀」に登場、大反響。

[親の虐待の実話と非行の心理、親が心がけるべきこと]

- ◆ 祖父がAの兄を殴り殺した。母親はショックで薬物依存に。Aは母の注射係で万引常習に。
- ◇ 7人の父をもち、**母にラブホテルまで付き合わされた**少女Bの孤独。無断外泊や暴れがとまらない。
- ◆ 「私はいつも父親にやられていたんよ」著者に打ち明けた少女C。援助交際、薬物でべろべろ。
- ◇ 母は男をつくり一家離散。少女Dは**万引で自分と妹の夕食にあいつく日々**。
- ◆ 両親が殺人犯で逮捕され、**施設をたらい回し**、ネットで中傷された少年E。暴力団が優しく見えた。
- ◇ 子どもの非行防止に、親はなにを心がけたらよいか、**親子の愛着形成**をベースに提唱する。
- ◆ 著者は鑑別所や少年院、刑務所にひんぱんに面会に行き、**非行の根っこにある愛情飢餓**、不安、怒りに寄り添ってきた21年間。「**堀井さんだけは信用できる**」と虐待の親からもいわれる。
- ◇ 関わった非行少年・少女は2000人以上、立ち直った今も、連絡してくれる人は**300人をこえる**。

◀目次▶

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1 異色の職場に辿りつくまで | 7 重大事件加害者の息子として |
| 2 小学生の無免許バイク登校 | 8 ネグレクト家庭でのトラウマ |
| 3 あの日の出来事の記憶 | 9 問題行動に隠されたメッセージ |
| 4 7人の父を持つ少女 | 10 わが子を非行に走らせないために |
| 5 性虐待を受けていた少女 | 11 問題行動解決のカギ |
| 6 引きこもり少年の家庭内暴力 | ——親の「愛着」と夫婦の家事分担 |

著者：堀井智帆(ほりい・ちほ)

1977年生まれ。西南女学院大学福祉学科卒業。児童養護施設勤務をへて福岡県警少年サポートセンターに21年間勤務。問題児たちから「非行少年の神様」と慕われる。22年同所退職。現在、フリーの立場で子ども相談や講演を行う。



四六判・並製

定価：1500円＋税
272ページ

【著者】



青灯社 営業 (担当・辻)

FAX: 03-5368-6943

TEL 03-5368-6550

eメール info@seitosh-p.co.jp

取次：トーハン、日版、楽天BN、八木書店、JRC、新日本図書

(書店印)

堀井智帆 著

非行少年たちの神様

ISBN 978-4-86228-121-0 C0011

定価 1500円＋税